



各位

バーチャル株主総会、及びオンライン決算説明会の運営結果に関するお知らせ

株式会社ウィルズ(本社:東京都港区、代表取締役社長:杉本光生、以下「当社」)は、自 社以外の上場企業に対して、ブロックチェーン技術を活用したバーチャル株主総会運営サ ービス、及びオンライン決算説明会の運営結果について、お知らせ致します。

1. サービス提供先企業一覧

2020年3月末日を基準日とする下記の上場企業に対し、各社の株主との対話についての考え方や株主総会の運営実務に則して、多様な類型のバーチャル株主総会運営サービスを提供致しました。

証券 コード	会社名	株主総会 タイプ	事前の電子 議決権行使	議決権の 当日集計	質問機能	総会後の 事業説明会
2352	株式会社エイジア	出席型	0	0	当日質問	0
2454	株式会社オールアバウト	参加型	0	0	当日質問	
3464	プロパティエージェント株式会社	参加型	_	_	当日質問	0
4436	株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド	参加型	_	_	事前質問	_
4800	オリコン株式会社	参加型	_	_	_	_
9896	JKホールディングス株式会社	電子議決権 行使のみ	0	0	_	_
3477	フォーライフ株式会社	電子議決権 行使のみ	0	0	_	_

尚、オンライン決算説明会の運営サービスに関しては、オンライン上でのリアルタイムの動画視聴に加え、チャット機能と音声発言システムを併用したライブ配信、及びオンデマンド配信の運営を行っております。

2. 本サービスの内容

基本機能としては、電子議決権行使と双方向型の動画 LIVE 配信サービスを組み合わせ



ることで、オンライン上でリアルタイムの議決権行使の参加、質疑応答、閲覧が可能となるサービスです。また、株主総会のお土産の代わりに、電子議決権行使率の向上施策として、プレミアム優待倶楽部サイトで利用可能な「株主アクションポイント」を株主に進呈する取り組みも行いました。

一般的に「出席型」と「参加型」とに大別される「バーチャル株主総会」は、実務上、質問の有無や受け方等によっても様々な形態のサービスが存在します。当社は、信託銀行主要3行(三菱 UFJ 信託銀行株式会社、三井住友信託銀行株式会社、みずほ信託銀行株式会社)と協調して、上記企業に対してバーチャル株主総会運営サービスを提供したことで、当日開催分の集計や複数媒体からの議決権行使結果の自動集計等、様々な運営形態の株主総会にも対応可能な知見・ノウハウを取得することが出来、各企業によって異なる株主総会の運営実務に則したバーチャル株主総会運営サービスを提供致しました。

■株式会社エイジアからのコメント

当社では、昨年プレミアム優待倶楽部を導入しました。当初は優待制度の切り替えが課題として、導入したわけですが当初から「個人投資家(株主)との対話の強化」を視野に入れたプラットフォーム化を視野に入れてました。コロナ感染拡大に伴い、株主総会という一番大事な株主様との対話において、当社が株主総会をどう運営するかを考えた時に、不勉強な点もありましたが日本では数少ない「出席型」で当日含めてインタラクティブな会話ができる環境をご用意するのが株主様への責務だと考え、プレミアム優待倶楽部導入時の「対話の強化」を大事にしたいと思っていました。

しかし、現実的には、本人確認の担保がハードルとなったり、株式管理をお願いしている信託銀行と連携した 議決権行使状況の集計方法など、課題は山積みでした。

ウィルズ社のプレミアム優待倶楽部は、ブロックチェーン技術を背景とした本人確認・認証システムをもって おり安心して利用できますし、細かな運営方法も信託銀行としっかり擦り合わせ、招集通知やご案内チラシなど きめ細かく対応していただき、システムはもちろん、安心して運営全般をご支援いただけました。

■株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドからのコメント

新型コロナウイルスの感染拡大防止の一環として、バーチャル株主総会を実施しようと考えておりました。プレミアム優待倶楽部を導入していたこともあり、株主総会当日の運営方法など、提携関係にあるウィルズ社に協力を仰ぎました。



(プレミアム優待倶楽部を通じた株主総会 LIVE 配信のイメージ)

WILLS プレミアム 優待俱楽部	Premium	ポイント通帳 ・優待商品交換履歴お問い合わせ ・ログアウト	登録情報の確認・変更 → よくあるご質問
トップ ポイントI WILLs・プレミアム優待俱楽部TOP > 第○○回定期株主総会	について 商品と交接	株主ポスト	株価・業績情報
第〇〇回定期株主	○ライブ配	信中	
ご質問・ご意見・動詞	sugimoto ト		776-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-1-
	ジの送信が出来ます。 ッセージに対し回答できない場合がござ	います。あらかじめご了承ください。	
議案	選択してください		
メッセージの種類 メッセージ	(200文字以内)) 動議の提出	A
	メッセージを	送信	
利用规約			opyright © 2011-2020 WILLS Inc. WILLS

3. 本サービス提供の背景及び目的

全世界的な新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染拡大の防止、及び ESG の観点から、6月に株主総会を実施する企業をはじめ、多くの上場企業では、株主に株主総会への来場を控えて頂く代わりに、バーチャル株主総会の検討が大幅に進みました。

「株主総会のバーチャル化」は、①株主管理コストの低減、②広く株主に株主総会に参加いただける環境を設けること、を目的として従来から議論されて参りました。

また、バーチャル株主総会の開催には、本人確認の担保がハードルとなっておりました



が、当社は、ブロックチェーン技術を活用することでそれを実現し、株主番号毎の本人確認を担保した株主とのコミュニケーションをデジタルに移行することが可能となりました。

もう一つの課題として、複数存在する議決権の集計方法も課題の一つとなっておりましたが、当社は、株主総会前日までに複数存在する行使結果の自動集計、及び当日開催分の集計を行う電子議決権行使プラットフォームの提供を行い、本番環境における実用化の実績を積み上げて参りました。

4. 今後の展開及び当社の方針

株主総会プロセスの電子化(招集手続の電子化・議決権行使の電子化)は、当社の中期的成長戦略の一つであり、上場企業の株主管理コストの削減と株主との対話促進ニーズを獲得するためにも、株主管理プラットフォームの普及と株主のデジタル化の推進を目的とした本サービスの販売強化を進めて参ります。

また、経済産業省とも継続して、意見交換の機会を設けることで、上場企業におけるバーチャル株主総会の開催マニュアル等の作成に寄与して参りたいと考えております。

以上

◆株式会社ウィルズについて

株式会社ウィルズ(英名: WILLs Inc.)は、国内のべ 600 社の上場企業に、国内外機関投資家及び個人投資家を対象としたマーケティングプラットフォームを提供しております。

ブロックチェーン技術を活用した株主優待共通コイン(WILLsCoin)と電子議決権行使プラットフォーム(WILLsVote)を通して、金融市場と上場企業の対話を促進し、顧客企業の企業価値最大化を目指します。弊社事業の詳細は、次のウェブサイトをご参照下さい。(https://www.wills-net.co.jp/)

【本リリースに関するお問い合わせ】

株式会社ウィルズ 経営企画室ディレクター 伊藤

- ・電話でのお問合せ:03-6435-8151
- ・ホームページからのお問合せ: https://www.wills-net.co.jp/contact/index.php